

## 令和3年度地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業 実施状況一覧

No.	実施主体	事業名	事業の実施状況
1	神戸市	SNSとAIを活用したキャリアカウンセリング・キャリアアップサポート事業	<p>就職氷河期世代のうち非正規雇用など不安定な就労環境にある方が、働きながらもキャリアアップや正規雇用に向けた活動が行えるよう、SNSやAIを活用したオンラインプラットフォームを開発し、相談、研修、マッチング支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職者数(非正規を含む) R3目標:100 R3実績:55</li> </ul> <p>チャットボットの友達ユーザー数は、本事業への支援対象者の流入者数であるが、事業内で提供していた「SODAMO」というサービス名称が相談を想起しやすい反面、就労支援サービスまで提供していることが伝わり辛く、事業開始時のメディア露出効果も低減し流入者数は低調となった。これに伴い、就職者数・カウンセリング受講者数ともに伸び悩んだ。</p> <p>この状況を変えるべく、「Middle Carrer」として就労/キャリアに関するものと伝わりやすいサービス名称への変更を実施し、LPやシステムのUI/UXの見直しを行った令和3年10月以降、流入者数は大幅に改善された。しかし、流入層へ伝わりやすい情報発信手法の確立までに時間を要したため、カウンセリング受講に至るまでの離脱割合が大きく、それに引っ張られる形で就職者数についても目標値達成(ただし、当初想定目標値の50名は超過達成)に至らなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセリング受講者数 R3目標:500 R3実績:271</li> </ul> <p>友達ユーザー数は十分な数を確保しているものの、友達ユーザー登録後のカウンセリング受講に至るまでの離脱割合が大きく、カウンセリング受講者数が伸び悩んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャットボットの友達ユーザー数 R3目標:4000 R3実績:4740</li> </ul>
2	神戸市	ひきこもり状態等にある方の就労支援充実	<p>2020年2月に設置した「神戸ひきこもり支援室」を本格稼働させ、電話等による相談に加え、相談員による家庭訪問や医師等専門職で要請する専門チームの派遣、関係機関とのネットワーク構築による情報の一元化を行うことで、早期支援や長期化の防止を目指した。また、地域若者サポートステーションにおいて就職氷河期世代の無業者に対して心理カウンセリングを行い、結果を踏まえてサポステの適切な支援プログラム等へつないだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもり状態にある就職氷河期世代の方のアプローチ型の相談 R3目標:24 R3実績:55</li> <li>・地域若者サポートステーションにおける心理カウンセリング実施件数 R3目標:100 R3実績:59</li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による対面での相談業務の抑制</p>
3	神戸市	氷河期世代の転職・再就職及び市内企業人材確保の同時的推進事業	<p>就職氷河期世代向けに就労に必要なスキル・意欲向上等を目的としたセミナーによりスキルアップを図り、就職氷河期世代の採用に意欲と理解のある企業の開拓を並行して行い、職場見学・職場体験を含む丁寧なマッチング支援を通じて採用につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・氷河期世代向け就業支援セミナーへの参加者数 R3目標:195 R3実績:114</li> </ul> <p>セミナー開催日の約半分がコロナによる緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置期間中となり、進んで就職・転職活動を行う求職者が減少したと考えられる。一部オンラインも併用したが、参加は奮わなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場見学・職場体験の参加人数 R3目標:50 R3実績:24</li> </ul> <p>セミナー参加者の目標値未達に伴い、職場体験へ繋げられる機会も減少したため。また、ミニ合同企業説明会への新規の参加企業もコロナの影響により少なく、求職者が様々な企業と接点をもつ機会が想定より少なくなったため。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業を通じ正規雇用としての採用に至った人数 R3目標:10 R3実績:3</li> </ul> <p>職場体験の参加人数の目標値未達に伴い、採用人数も未達となった。</p>
4	伊丹市	就職氷河期世代就労サポート事業	<p>若年層や氷河期世代の就職困難者に対し、求職活動に向けての基礎的知識を取得するためのセミナーを実施、また職場体験実習にも取り組み就職へ結びつけた。年1回開催(10月～12月)。参加対象:市内在住の概ね50歳までの無業の人20人募集。16人受講。就職決定者5人。別途就職面接会(オープン参加)において参加者15人のうち就職決定者4人。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業における講座受講者数の内氷河期世代受講者の人数 R3目標:12人 R3実績:4人</li> </ul> <p>本市を始め、近隣自治体において就職氷河期世代対象試験が実施されたほか、ハローワーク伊丹においても就職氷河期世代対象の面接会等の取り組みが開催されていたことなど、様々な選択肢が増えたため。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・氷河期世代受講者の内就労した者の人数 R3目標:7人 R3実績:1人</li> </ul> <p>働く意欲はあるものの、就労への心理的な負担が大きいことにより、就労開始への意思決定に時間を要する受講者が多く、事業期間内に就労につなげることが出来なかったため。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の就職した者の内正社員となった者の人数 R3目標:4人 R3実績:0人</li> </ul> <p>就労に対する心理的な負担が大きい受講生が多く、正社員募集の職種とのマッチングが困難であったため。</p>

No.	実施主体	事業名	事業の実施状況
5	宝塚市	就職氷河期世代リモート型就労支援事業	<p>就職氷河期世代のうち不本意ながら不安定な仕事についている方、働きながらキャリアアップを望む方などを対象に、SNSアプリ「LINE」を活用したシステムを開発し、就労に関する相談、キャリアカウンセリング、セミナー情報の配信等、オンライン上で就労支援を実施。提供サービス名は「ヅカキャリア」とし、令和2年10月9日より運用を開始し、令和3年度も引き続き運用を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業による就労者数(非正規採用を含む) R3目標:10人 R3実績:12人</li> <li>・キャリアカウンセリング利用件数 R3目標:200件 R3実績:111件</li> </ul> <p>コロナ禍の長期化により各支援機関における就労支援の多様化が進み、利用者も他の就労支援サービスと併用での利用が増加したと考えられるため。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報配信に対するアクセス数 R3目標:1800回 R3実績:7936回</li> </ul> <p>「ヅカキャリア」の友だち登録者数が想定よりも多く、その分アクセス数も多くなったため。</p>
6	加西市	地域若者サポートステーションの拡充	<p>地域若者サポートステーションの対象者を54歳まで引き上げ、さらに「ひきこもり」の状態の者も一次相談窓口として対象とし、就職氷河期世代のすべてを支援対象として、対応した。また、ひきこもりの方及びその家族を対象に勉強会、座談会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・34歳～49歳でひきこもり状態にある方やその家族等からの相談件数 R3目標:11人 R3実績:2人</li> <li>・相談者中の就職等件数 R3目標:4人 R3実績:2人</li> </ul> <p>全体の相談件数は増加傾向であるが、相談(対象)者は全体的に若く、対象年齢となる世代の相談件数が少なかった。</p>
7	兵庫県	ひきこもりの居場所及び居場所へのつなぎ資源確保事業	<p>県内の居場所拡充に向けた居場所の担い手養成研修や多様な居場所を確保する観点からインターネット環境を活用した電子居場所の設置、自宅から居場所へのつなぎ支援のため家族支援プログラムの人材養成研修等を実施した。また、市町の取組を推進させるひきこもり支援勉強会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所を設置する市町数 R3目標:24 R3実績:8</li> <li>取組検討・準備中と聴き取っており、次年度以降に計上見込み</li> <li>・家族支援プログラム(CRAFT)の実践者及び支援者研修延受講者数 R3目標:150 R3実績:69</li> </ul> <p>新型コロナの対策により、実地の予定をオンラインに変更し、かつまとめて実施。また、受講予定者も同感染症の対応により、一部参加困難となった</p>
8	兵庫県	ミドル起業家支援事業	<p>就職氷河期世代のうち、本人に合った形での就労や社会参加が可能となるよう、起業を考えている方に対して立上げ経費の一部を支援することで、安定した起業及び事業運営のサポートを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業を活用した起業家数(新規事業数) R3目標:20 R3実績:14</li> </ul> <p>県内対象者に向けたチラシ配布に加え、県内コワーキング施設での説明会により枠数を超える応募があったものの外部審査会での基準点に到達しない案件もあり上記実績での採択となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業の活用による新規雇用数 R3目標:40 R3実績:19</li> </ul> <p>スモールビジネスによる企業が多く、創業まもない段階では創業者単独で事業運営するケースが多いため。</p>
9	兵庫県	ミドル世代就労支援事業	<p>兵庫県が委託運営する、ひょうご・しごと情報広場にミドル世代就労相談窓口を設置し、就職氷河期世代の抱える課題を踏まえ、個々の状況や適性に応じたキャリアカウンセリングから段階的な就職支援プログラムを実施し、実際の職場での体験就業からマッチングまで行う就職支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひょうご・しごと情報広場におけるミドル世代の就労相談件数 R3目標:100人 R3実績:793人</li> <li>求職者に相談窓口を利用してもらうため、ホームページやチラシの広報に力を入れた。</li> <li>・ひょうご・しごと情報広場の支援によるミドル世代の就職者件数(正規雇用) R3目標:10人 R3実績:11人</li> </ul>
10	兵庫県	就職氷河期世代等就労支援プログラム事業	<p>就職氷河期世代のうち不安定就労者や未就職者等を対象に、安定就労に向けた就職活動を支援するため、ビジネスマナーや履歴書作成等の研修と企業とのマッチング等の就職活動支援を組み合わせた人材育成プログラムを実施し、就職氷河期世代の活躍支援を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムへの就職氷河期世代の参加者数 R3目標:30人 R3実績:28人</li> </ul> <p>コロナ禍による景気減速が長引く中で、概ね目標値を達成できたと考える。令和3年度は事業対象者を就職氷河期世代に限定し、応募者数63名の中から十分に就労意欲やプログラムへの参加意欲のある者を選抜してプログラムを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムに参加した就職氷河期世代の就職者数(正規雇用) R3年度目標:15人 R3年度実績:8人</li> </ul> <p>コロナ禍による景気減速の中で、多くの企業が正規雇用を控えたためと考えられる。職場体験先への就業などで8人の実績をあげ、非正規雇用を含めると計14人の就職につなげた。</p>

No.	実施主体	事業名	事業の実施状況
11	兵庫県	短期職場体験就業事業	<p>就職氷河期世代のうち、卒業時に未就職であった者など、これまで十分な職業経験のない者を対象にキャリアカウンセリングにより適性を見極めるとともに、企業が必要とする人材を的確に把握のうえでマッチングを行い、実際の職場での体験就業を通じて、ミスマッチのない就業につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業参加者数(プレ雇用+職場体験クラス) R3目標:200人 R3実績:132人</li> <li>・プレ雇用を通じた就職者数(正規雇用) R3目標:20人 R3実績:5人</li> </ul> <p>新型コロナウイルスの影響で企業の受け入れ見合わせや、求職者の来所人数が減少したことが影響した(R4年度はおためし企業体験inHYOGOに事業を組み替えて実施)。</p>
12	兵庫県	氷河期世代向け合同企業説明会事業	<p>就職氷河期世代の求職者等に対し、「ひょうご応援企業」などの県内企業の魅力を知ってもらうことにより、県内企業の人材確保及び就職氷河期世代の県内就職を促進するため、神戸において合同企業説明会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明会参加者数 R3目標:150人、R3実績:105人</li> </ul> <p>様々な媒体を利用して参加者の促進に努めたものの、目標に達するほど十分に周知ができていなかったため。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明会参加をきっかけにした就職者数(正規雇用) R3目標:10人、R3実績:17人</li> </ul> <p>対面型で様々な業種の企業が参加したことにより、求職者のニーズに合った企業のとマッチング機会を確保できた。</p>
13	兵庫県	就職氷河期世代のこころの健康電話相談事業	<p>精神保健の中核的専門機関である精神保健福祉センターに就職氷河期世代向けに特化した相談窓口を設置。また、必要に応じて関係団体との個別ケースの連絡調整会議を開催する。相談ケースや他機関と連携した個別ケースの考察により、県民の身近な窓口である市町にフィードバックする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職氷河期世代のこころの健康問題の相談件数 R3目標:380人 R3実績:237人</li> </ul> <p>相談件数の増加ペースが当初の予想を下回ったため。(コロナの影響により、こころに不安を抱える人が増加すると考えたが、コロナとの共存に慣れ始めたこともあり、思うように件数が伸びなかったと考えられる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別ケースの連絡調整会議の開催数 R3目標:7 R3実績:2</li> </ul> <p>当初の想定よりも連絡調整会議の開催を必要とする事例が少なく、目標値を達成できなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡調整会議から社会参加へつながった者の数 R3目標:3 R3実績:5</li> </ul>

## 令和3年度地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業実施状況に対する意見等

[令和4年8月1日 兵庫県就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム運営会議（オンライン協議）]

意見等	事務局回答
「7. 兵庫県ひきこもりの居場所及び居場所へのつなぎ資源確保事業」について、「取組検討・準備中」の具体的な数ほどの程度あるか教えて頂きたい。	厚生労働省の調査結果によると、令和4年度中に設置予定との回答が1団体から、令和5年度中に設置予定との回答が3団体からあった。